



看護部長便り～A letter from Ozawatti～

2021年が始まりました。例年とは異なり新年のお祝いムードはなく、静かな、そして緊張感に包まれた一年の始まりになっています。ちょうど1年前に、横浜に入港したダイヤモンドプリンセス号から新型コロナウイルス感染症が発生しました。それから私たちの生活の中で‘自粛’を求められる場面が多くなり、ストレスがつもっていつている人も少なくないと思います。こんな状況だからこそ、看護部の研修会は可能な限り続けたいと考えました。看護者の倫理綱領の中に、「常に、個人の責任として継続学習による能力の維持・開発に努める」ことが掲げられています。コロナ禍であっても私たちは専門職として学び続けなければならない責務があります。計画していた研修を中止することは簡単ですが、感染リスクを減らす工夫をしながらいかに研修を継続できるかを考え続けた一年であったように思います。今後は「ZOOMで研修」も「あり」かもしれません！固定概念をとっぴらって、「withコロナ」に向かいたいと思います。では、今年もよろしくお願いいたします。



疫病退散の願いを込めて、アマビエ飴を買ってみました。

冬に入り、ぞくぞくと各研修でのまとめが行われました。日付順にどうぞ！

12/4 ラダーII(1巡目) 業務改善実践報告会

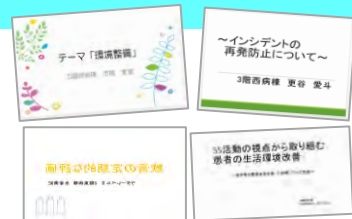


今年度の業務改善実践報告会は14名(看護師10名、介護福祉士4名)のみなさんが発表してくれました。発表前は緊張している様子がみられましたが、いざ本番となると堂々と立派な姿に感動しました。今年度は5月の研修が中止となってしまいましたが、病棟でリーダーシップを発揮しながら業務改善に取り組んでくれたことを感じました。

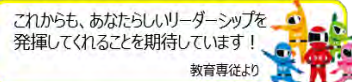
この業務改善での経験を活かして、患者さんの生活の質向上へと取り組み続けてくれることを願っています。

キャリアデザイン講話は岡係長、渡辺副主任、平下副主任、井手副主任からお話を聞きました。みなさんは、どんなキャリアを思い描いていますか？

今年は冊子を作成しました！



その他たくさんの業務改善がありました！



12/11 ラダーI-2 実践発表会



例年、共歩者としての年間の取り組み内容が曖昧になっていたため、今年度は実践発表会を企画しました。今年度の学びや取り組み内容、看護・介護観を含めてPPTにまとめて発表を行うことで実践内容が明らかとなり、受講者の達成感にもつながりました。発表会後には、『伝承』として、次年度共歩者を担うスタッフへどのようにサポートしていくかをグループで考え模造紙にまとめて発表しました。また、1人1人が次年度に向けた決意表明も行いました。これからも専門職としてキラキラと輝き続けて下さい♡

発表会後の達成感に満ちた笑顔が最高でした♡



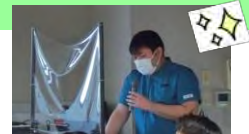
12/13 ラダーI-1 事例検討会・まとめ研修



科長も熱心に耳を傾けます♪

今年度は、4月下旬に予定していた研修が中止となったことをきっかけに、I-1研修全体の流れを考え直しました。7月には、発表会への準備をしつつメンバーシップについて学習しました。9月のケア実践発表会では、それぞれが自らの看護観・介護観を表明することができました。そして、まとめとなる今回は、9月に発表した看護観・介護観を深めるべく現在困っているケースについて事例検討会を行いました。初の試みであり、感染対応による制限がある中でしたが、積極的に前向きに取り組む姿が印象的でした。他者の意見に耳を傾け、そもそも患者さんとのコミュニケーションが不足していた、他職種と課題を共有できていなかった等の気づきがあり、看護観・介護観を深めることができました。

素晴らしい仲間とともに、来年度も大いに羽ばたいてくれることを期待しています。

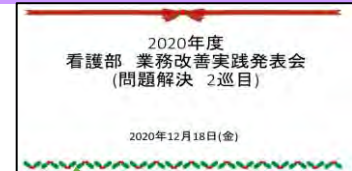


Everyone, be ambitious!

12/18 業務改善実践発表会(問題解決 2巡目)

この問題解決2巡目のコースは上記のラダーII 1巡目を終了した職員が選択できる研修となっています。1年目で実施したことを活かし、今年も業務改善に取り組む職員のためのコースとなります。導入研修が新型コロナウイルスの影響で中止となったため、eラーニングで問題解決技法を学びました。自部署の課題を整理するためにロジックツリーの作成を行い解決策を導き出した後、実際に取り組みを行いました。その流れをパワーポイントにまとめ発表を行いました。2巡目の職員の発表会は初の試みでしたが、看護師7名、介護福祉士3名が発表を行いました。取り組み内容としては感染対策、排便ケア、病棟で発生したインシデントから対応策を考え実践したなどでした。皆さん、2回目なので堂々とした発表でした。お疲れ様でした。

ここで留まらず、さらなる活躍を期待しています。



冊子です



お疲れ様です